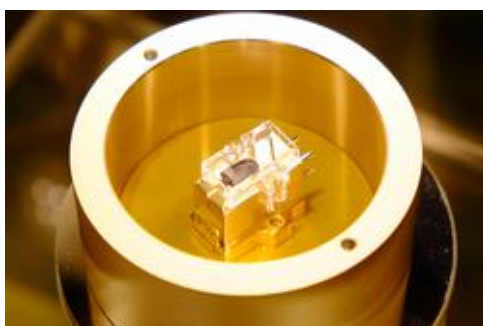


河口無線カートリッジ試聴報告(2017.12.28)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。本年もゴールデンウィーク、お盆休みに引き続き、冬のオーディオ三昧が開催されていますが、これに合わせて、M氏の発案でアキュフェーズの新しいカートリッジ AC-6 と MUTECH の LM-H の試聴の機会を持つことにしました。せっかくの機会ですから、オーディオ仲間の O 氏、M 谷氏、ST 氏にもご参集いただきました。

<試聴システム>

今回の目的はアキュフェーズの新しい MC カートリッジ AC-6 の試聴ですが、対象としてさらに MUTECH の LM-H も加え、比較対照として夏のオーディオ三昧で行った [河口無線カートリッジ試聴報告 \(2017.8.13\)](#) で聴いた My Sonic Ultra Eminent Bc と My Sonic Eminent GL も借りることにしました。



AC-6



LM-H



Ultra Eminent Bc



Eminent GL

カートリッジ：

Accuphase AC-6

MUTECH LM-H

My Sonic Ultra Eminent Bc (比較用)

My Sonic Eminent GL (比較用)

トランス :

My Sonic Stage 1030

フォノイコライザー :

Lux EQ-500

プレイヤー :

Lux PD-171A

アンプ :

ラックスマン プリアンプ C-900u

ラックスマン パワーアンプ M-900u

スピーカー :

B&W 802D3

<試聴の経過>

最初は AC-6 をセットし、M 氏の盤からリヒテルのベートーベンピアノソナタ 12 番、ショルティ/ウィーンフィルのラインの黄金、おなじ曲の O 氏持参の初期盤、M 氏のショルティ/シカゴの春の祭典を聴きましたが、いずれも水準以上の音で、M 氏のカットティングの新しいラインの黄金と O 氏の初期盤とはカットティングの違いがよく分かりました。次にカートリッジを比較用の Ultra Eminent Bc に替え、先ほどの盤にアンセルメ/スイスロマンの三角帽子を加えて聴いていきましたが、音の深みと切れ味が一挙に向上し、価格差だけのことがあると首肯できました。先ほど少し不満があった O 氏の初期盤もくもりがとれたようで、盤質とカートリッジの関係がよく分かりました。さらに比較用の Eminent GL に替えて O 氏の盤と先ほどの春の祭典を聴きますと、Ultra Eminent Bc との差は歴然で価格差の差はいかんともしがたいところがあります。ここでその差を再確認する意味で Ultra Eminent Bc に戻しますと、先ほどの音が戻ってきました。ST 氏がジャズの聴いてみたいということで、当時人気があったという 45 回転盤をかけたところ、Ultra Eminent Bc と 45 回転盤の良さが相まってジャズの演奏の生々しさが発揮されました。

もう一度 AC-6 を聴いてみようということで、三角帽子を聴いてみましたが、AC-6 のウォーミングアップが効いてきたせいか、Ultra Eminent Bc のレベルに近づいたような気がしました。

ここで遅れて到着した ML-H をセットできましたので、先ほどの盤から選抜して聴いていきましたが、バランスよく聴きやすい音で、Ultra Eminent Bc とはおおかた倍近い価格差を考えるとコストパフォーマンスの良さが光っていました。

<まとめ>

試聴対象はいずれのカートリッジも使用したトランスの効果もあってハイグレードの音を聴かせてくれましたが、**Ultra Eminent Bc** は夏のオーディオ三昧の時の印象そのままに頭一つ抜け出していました。また、同席者のなかではコストパフォーマンスの良さで一番低価格の **LM-H** の人気を集め、ほぼ同価格の **AC-6** と **Eminent GL** は好みの分かれるところでした。

M 氏と **O** 氏と **ST** 氏が各種の銘盤を持ち寄っていただきましたので、それぞれのカートリッジの特徴を多面的に評価することができました。

今回使用したトランスの **My Sonic Stage 1030** は先般発注していて当日受け取ったもので、自宅のシステムでこの評価を始めています。

以上